

2014年度 大阪国際空港航空機事故対策総合訓練の実施

大阪国際空港で航空機事故が発生した場合に備え、大阪国際空港緊急計画の検証を行うとともに、関係機関と緊密な連携、協力による迅速かつ適切な消火救難、災害医療活動を目的に、下記のとおり訓練を実施する。

記

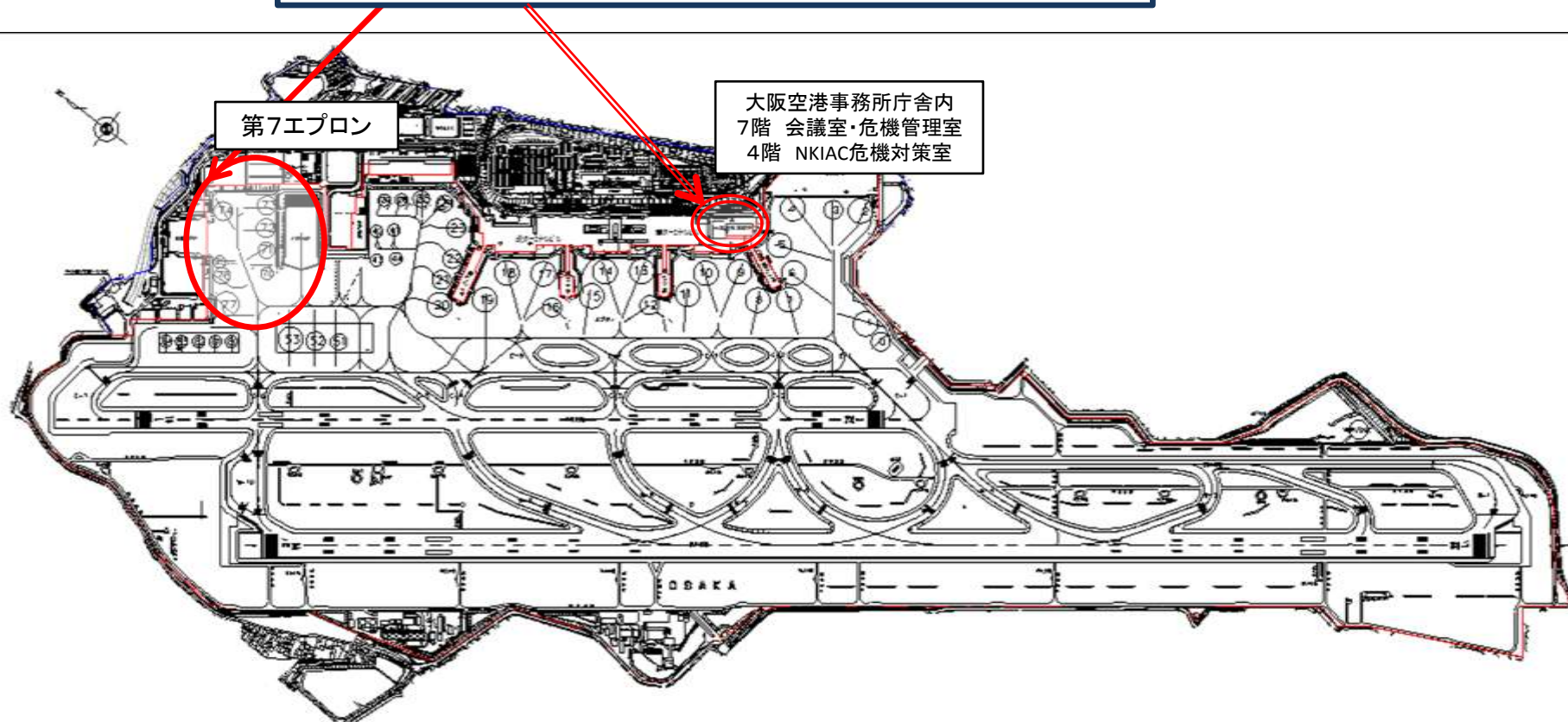
- 実施日時 2014年10月23日(木) 13:30～15:30 (小雨決行、荒天中止)
- 実施場所 大阪空港事務所7階会議室および大阪国際空港第7エプロン
- 主催 大阪国際空港緊急計画連絡協議会
- 航空機提供 日本航空株式会社(エンブラエル170型機)
- 参加機関
 - ・ 参加機関 : 52機関
 - 【自衛隊、警察、消防、自治体、医療機関、消火救難隊等】
 - ・ 参加人数 : 470名(模擬乗客42名含む)
 - ・ 車両 : 59台(消防車26台、救急車10台、警察車両1台、自衛隊車両3台、医療19台)
 - ・ ヘリコプター : 5機(陸上自衛隊、大阪市消防局、大阪府ドクターヘリ、兵庫県消防、兵庫県警航空隊)
 - ・ 大型バス : 2台(大阪空港交通株式会社)
- 訓練想定
「ABC航空2014便エンブラエル170型機は、大阪国際空港に着陸後第1エンジンから出火し、B滑走路北端で爆発炎上。乗員、乗客に多数の負傷者が発生した」との想定で以下の訓練を実施。
- 主な訓練内容
 - ・ 関係機関相互の通報・情報伝達訓練
 - ・ 航空機火災の消火活動および搭乗者救助訓練
 - ・ 負傷者のトリアージ、搬送および医療救護活動訓練
 - ・ ヘリコプターによる負傷者搬送訓練
 - ・ 現地対策本部、現場合同調整所の設置および運用訓練
 - ・ 危機対策室の設置および運用訓練



平成26年度 航空機事故対策総合訓練

《訓練場所及び主な訓練内容》

- (1) 関係機関相互の情報伝達訓練
- (2) 航空機火災の消火及び搭乗者の救助訓練
- (3) 負傷者のトリアージ、搬送及び医療救護訓練
- (4) ヘリコプターによる負傷者搬送訓練
- (5) 現地対策本部、現場合同調整所の設置及び運用訓練
- (6) 危機対策室の設置及び運用訓練

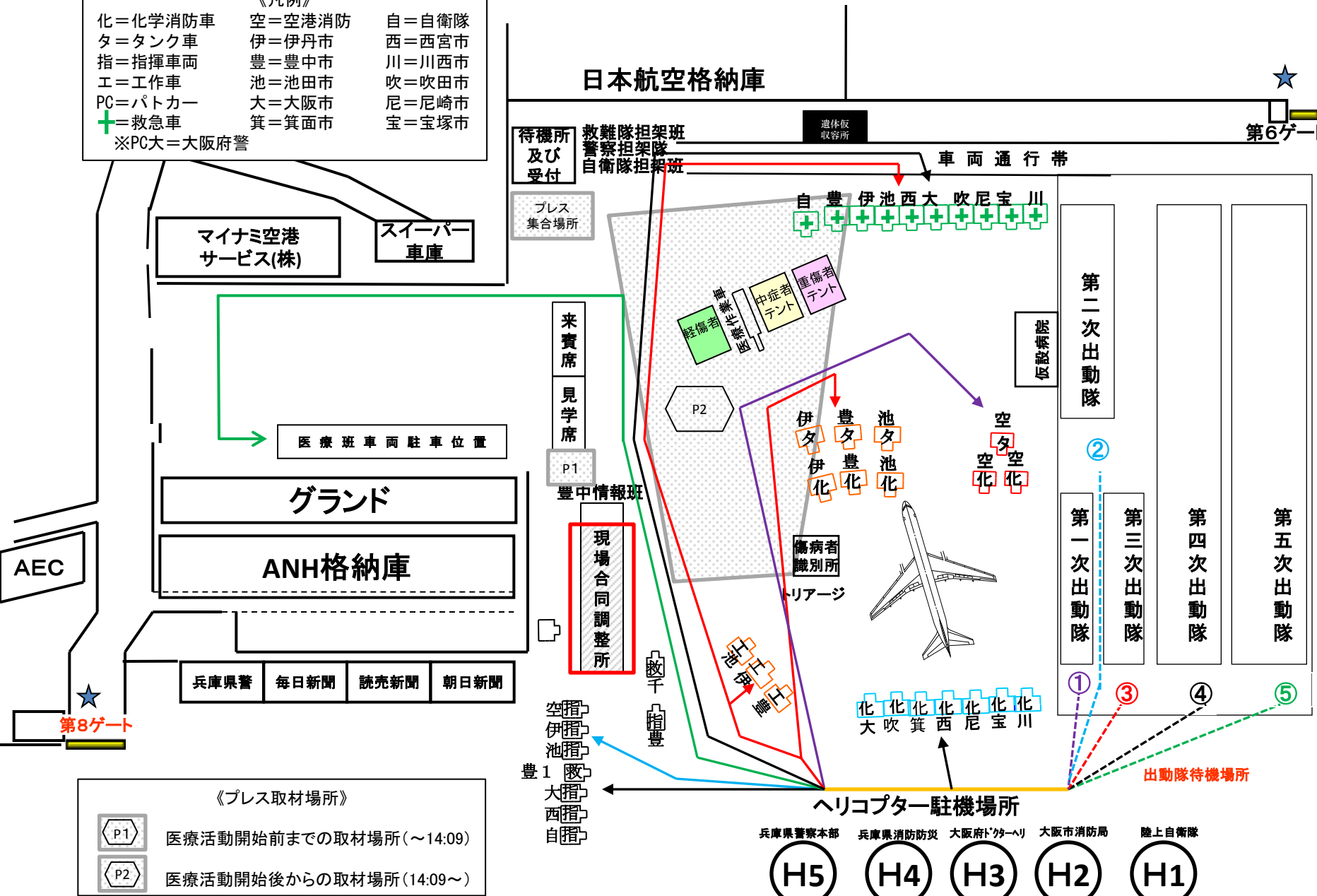


訓練会場概況図

《凡例》

| | | |
|---------|--------|-------|
| 化=化学消防車 | 空=空港消防 | 自=自衛隊 |
| タ=タンク車 | 伊=伊丹市 | 西=西宮市 |
| 指=指揮車両 | 豊=豊中市 | 川=川西市 |
| エ=工作車 | 池=池田市 | 吹=吹田市 |
| PC=パトカー | 大=大阪市 | 尼=尼崎市 |
| + | 箕=箕面市 | 宝=宝塚市 |

※PC大=大阪府警



《プレス取材場所》

| | |
|--|------------------------|
| | 医療活動開始前までの取材場所(～14:09) |
| | 医療活動開始後からの取材場所(14:09～) |

- 兵庫県警察本部
 - 兵庫県消防防災
 - 大阪府消防(大)
 - 大阪市消防局
 - 陸上自衛隊
- H5
H4
H3
H2
H1